

「第11回新潟県プライマリ・ケア研究会」で発表しました

平成29年8月27日に新潟県医師会館にて、「第11回新潟県プライマリ・ケア研究会」が行われました。

この会において、本学医学部医学科4年の波形ありささんが「中山間豪雪地域における高齢者の運動と抑うつの関係—魚沼市「生活環境と健康に関する聞き取り調査」より—」と題して口演発表をそれぞれ行いました。彼女をはじめとする4名が今年の冬に実施した医学研究実習にて魚沼市の住民を対象とした聞き取り調査を行い、そこで得られた結果を今回発表しました。

県内各地のプライマリ・ケア関係者が集まる中で、これまでの調査・研究の成果を十分に生かしてプレゼンテーションすることができました。フロアからは今後の調査にも生かすことのできる意見・コメントをいただき、次年度以降の調査へ向けて弾みのある会となりました。

